

# 小平西のきずな

「小平西地区地域ネットワーク」ニュース No. 46

2023年6月6日(火)発行

発行責任者:草野篤子(白梅学園大学)

TEL: 042-346-5639

住所:〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

## 私を感じる小平

吉村季織(白梅学園大学兼任教員)

小平市…私が白梅学園大学で非常勤講師をするようになったのは2007年のことでした。この時よりも前の私は、小平市と聞いてピンとこなかったことでしょう。高校生の時に、埼玉の下山口まで毎週行く用事があり、西武新宿線の停車駅にそんなのがあったなという程度でしょうか。知り合いから、白梅学園大学での非常勤講師の代役の話を持ち掛けられた時も、小平？白梅？という感じでした。

そんな私でしたが、白梅で学生と交流したり、西ネットに関わり、中学生無料勉強会分かった会での活動を通して、自分の地元の次に顔見知りの多い町となりました。歩くのが好きなので、結構あちらこちらまで歩いて行ったりもします。そんな西ネットに関わっているけど、地元民ではない私が小平市(白梅付近)について感じたことを書いてみたいと思います。

小平市内を歩いていて、「平たい」なあと気づかされます。小平の名前の由来もこの「平」坦さから来ているとのことで、昔の人も同じように感じていたのだと納得してしまいました。通る経路にもよりますが、国分寺から鷹の台を通過して小川まで、坂と言えるものに出会うことなく歩いてたどり着くことができるのはこの平たさによるもの

のと言えます。これは、小平市の暮らしやすさの一つを表していると思います。多摩ニュータウンなどでは、坂が多いことが問題の一つとされていることからすると、小平の何と恵まれたことか！もう少しお店があるといいんですけどね～

また、畑が多いのも都心に住んでいる身からすると新鮮に映ります。秋になるとブドウなどが路地販売されているのも、都心では見られない風景です。ただ、鷹の街道から青梅街道に抜ける道は、地元民でない身にはややこしく、ときどき迷ってしまうことがあります。裏道？農道？を使うとすんなりで行けるときがあることを、最近知り合いに教えてもらいました。新規転入者などは、災害時に避難場所への経路に迷ってしまうかもしれません。農道マップなどを作ってみたいと思いますが、いかがでしょう？

そして、猫好きの私にはやや寂しいことではありますが、私の地元と比べると猫に出会うことが少ないというのがあげられます。これは屋内飼いが守られているというほかに、保護猫活動のたまものと思われる。そんななか、ほぼ確実に猫に会えるスポットを発見し、そこで猫に会うのが最近のひそかな楽しみとなっています。

気づいたことのいくつかを書きました。気づいたことはこれ以外にもいろいろとありましたが、それらを書いていると、それだけで「きずな」がうまってしまうので、このくらいにしておきます。これからもまだ行ったところないところにまで足を延ばして、何か発見ができればと期待しています。

### 小平西地区ネットワークって何？

2012年3月17日に白梅学園大学関係者が様々なNPO、ボランティア団体、民生・児童委員、町内会、大学・学校などに関係する方々に呼びかけて「お互いの顔が見える人間関係が豊かな地域づくり」を目指して立ち上げました。個人ベース(団体の担当者でも可)の加入を基本とする開かれたネットワークです。市民の皆さん一緒に活動に参加なさいませんか？

# 令和4年度第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会

## 全国優勝の報告

### 白梅学園高等学校 ハンドボール部顧問 須川文敬

本校ハンドボール部は、3月24日～29日に岐阜県岐阜市で行われた令和4年度第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会にて8年ぶり2度目の全国優勝を果たしました。

高校スポーツは、全国大会が3つあります。春は全国高校選抜大会、夏はインターハイ、そして秋の国民体育大会です。今回の選抜大会は年度を締めくくる最後の全国大会でもあります。

実は今回の選抜大会の組み合わせが決定した時、私たちチームには明確な目標ができました。勝ち進んでいけば、まず、準々決勝で昨年の国体決勝で敗れた京都の洛北高校と対戦。それに勝利すれば、これも同じく昨年インターハイ準決勝で敗れた千葉の昭和学院高校、そして決勝戦に進めば、昨年秋、東京都大会決勝戦で対戦し負けた佼成学園女子高校と、いずれも昨年敗北を喫している高校との対戦予想となったわけです。まさにリベンジを果たすには絶好の機会。私は鼻息荒く腕まくりをして岐阜へと出発しました。ところが、そんな私を尻目に子どもたちは落ち着いた戦いぶりで大会をスタート。一戦一戦を冷静に普段の練習そのままにコート

上で鍛え上げた技術を表現し、スルスルと決勝進出を成し遂げました。決勝の朝も印象的でした。何一ついつもと変わらないリラックスした表情。頼もしさを感じたものでした。気づけば表彰式で金メダルをかけられ、生徒たちの手によって、私の重いからだに3回宙を舞っていました。

今大会は、全試合がLIVE配信され、学園関係者の方々や、保護者の皆様、また同級生からも画面越しにたくさんの方が観戦していただいたようでした。この場をお借りし、声援をいただいた皆様にチームを代表して深くお礼申し上げます。そして、なにより日ごろから生徒たちの活動に対しご理解とご支援をいただいている校長先生、副校長先生、そして私たちスタッフの同僚の先生方に、あらためて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

さて、次の目標はすぐそこ、8月のインターハイです。今年は北海道函館市開催。まずは出場権の獲得を目指し、今日も放課後、子どもたちとの時間を大切にしていきます。

## NPO 法人愛犬ふぁみりー協会の紹介

### 佐々木

私は、NPO 法人ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会 理事長の佐々木と申します。当協会は平成17年に立ち上げ、平成23年にNPO 法人化をしました。

私たちは、あの東日本大震災で、理事長が2011年4月から福島第一原発20km圏内の動物保護活動を始め、その後翌年2012年5月から約6年間、宮城県南三陸町の神割崎キャンプ場を拠点として、私たちのペット(ゴー

ルデンレトリバー4頭、小型犬2頭)を連れて被災地に少しの笑顔をと各仮設住宅60カ所以上に被災地支援活動をしてきました。

そして、私も小平市に来てから60年が過ぎました。

「小平西地区地域ネットワーク」には、初期の会合には参加をしていました。しかし、流れを見る中で、ペットとの関係はこの会では無関係と思い参加するのでやめま

した。しかし、昨年私は防災士の資格を取得し、人もペットも大切である事は確信していましたが、視点を変えて災害弱者という要支援者の高齢者の防災に着手しました。ペットの防災講座も大切であることは間違いありませんが、ペットをメインに考えることの不安を覚え、人の防災からペットも、とすることにしました。今では、シルバーピアの「初めての防災講座」を進めています。なぜなら高齢者は災害時に避難所に行けない方が多いからです。避難所に行かなくても、在宅避難で防災できる事の大切さをお知らせしています。ご要望があれば無償で講師をさせていただきます。

また、当協会はたけのこ公園で常設のドッグランを運営管理しています。今度は小平市の西側にドッグランを

という声があり、現在その公園の選定をしているところです。早ければ今年度中にも開催できると確信していますが、ボランティアさんがいません。そこで、この場でドッグラン運営のボランティアさんを募集します。

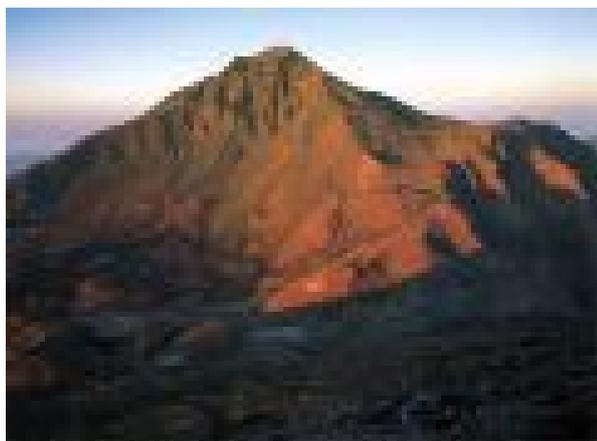
本来ドッグセラピー活動もしておりましたが、介護老人保健施設等の施設訪問がコロナ禍で訪問できずにいます。

どこかでセラピーをしたいという方がいればご連絡ください。また、当協会は平成29年4月に小平市と動物の災害協定も締結しております。イェローチョーク作戦も地道に頑張っております。その他いろいろな活動分野ありますので、ご興味があればお知らせください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 小平市福島県人会の紹介

## 高橋雅子(きたかた応援大使)

小平市福島県人会会長の高橋と申します。出身は福島県の喜多方市というところ。喜多方市は福島県の西の方に位置し、自然に大変恵まれた場所です。私が小平市に移ってから30年以上が経過し、小平での生活の方が長くなっています。



でも自分の出身地は第一の故郷です。福島県は岩手県に次いで面積の広い県で、東西 160 km、南北 120 km、安達太良山、磐梯山(写真)や猪苗代湖等が広く知られています。それらの紹介を行いながらお互いの親睦を図ることを目的に小平市の福島県人会が作られまし

た。この小平市には150人を越える福島県人がいます。もちろんこの数は分かっているだけで、それ以外にもいると思います。

福島県は2011年の東日本大震災において東京電力の原子力発電所が津波の被害を受け、多くの県民、とりわけ浜通りに住む人々が故郷から避難しなければならぬという事態の中で、困難を強いられています。いまだ故郷に帰れない人もいますし、帰れても放射能に汚染された土地の中で過ごさなければなりません。国や東京電力の対応は日々後退しています。

幸い、多くの市民が支援の手を差し伸べ、小平市では福島キッズの取り組みで子どもたちを小平に迎えるなど、支援と同時に交流をすすめています。白梅学園大学の学生もこの取り組みに参加し、中央公園などで子どもたちと一緒に遊んだ姿もあります。西ネットの世話人をしている細江さんには大変お世話になっています。

小平市福島県人会はこれからも福島県という地域のつながりと、小平市に住むという生活のつながりを大事にしていきたいと思っています。

# 白梅探検隊冒険譚

## 白梅子育て広場 川野晴紀

—2023年4月15日(土)、私たち白梅探検隊は

「白梅伝説のヒミツのたから」を探しに冒険へと出発した—

今回は、春のあそぼうかいとして「見つけ出せ！白梅のヒミツのたから」を開催いたしました。「冒険」をテーマに、紙芝居、製作、あそびを通して世界観を楽しみながら、お宝の発見を目指して進んでいきました。

物語は、伝説の冒険家はるき隊長がやってくるところ



から始まりました。白梅伝説の物語を紙芝居で伝え、「なかなか見つけだせないヒミツのたからを一緒に探してほしい」とはるき隊長から伝えると、不安や高揚感など様々な気持ちを持ちつつも子どもたちは「いいよ！」と答えてくれました。

次に、研究所に移動し、冒険に必要なグッズを製作しました。子どもたちはかばん、双眼鏡、カメラの中から一つを選んで作ってもらいました。それぞれ、色や装飾などでオリジナリティあふれる作品が出来上がりました。参加者さんの年齢の幅が広がったため、高年齢の子どもたちは2つ、3つ作って楽しんでいました。

これで冒険の準備は万端です。お揃いの帽子をかぶって私たちはついに冒険へと出発しました。石の絵が描かれた暖簾をくぐると、たくさんの石板と折り紙の宝石が散らばった「石板の間」がありました。子どもたちは、部屋いっぱい広がる世界観に目を輝かせていました。石板の間でのルールを聞き、石板を集めると「せきぞうのまえでみんなで『みつけ』とさけべ！」という文章が出来上がりました。道中にあった石像の前でみんな



で「みつけ」と叫ぶと、石像が開き、宝箱が現れました。その宝箱を開けると、なんとキラキラ輝くメダルが出てきました。子どもたちは「わあ〜！」と声をあげて驚いていました。見事、白梅伝説のヒミツのたからを見つけることができた白梅探検隊は、「冒険マスター」の称号を得ることができました。今後も定期的にあそぼうかいを開催予定です。たくさんの方のご参加お待ちしております。

## 「地域の相談や活動に関して」

### 地域包括支援センターけやきの郷 三島洋

地域包括支援センターは、65歳以上の方の総合相談窓口です。今回はけやきの郷圏域の日常の様子をお話しさせていただきます。

地域包括支援センターには、ご本人様やご家族様、関係機関等から多岐にわたる相談が寄せられています。



内容は介護保険の認定申請や介護の悩み事等の高齢者の生活全般に関する相談がありますが、特に独居の高齢者の認知面の低下が気になるとの相談が増えています。また、コロナ禍で外出の機会が減り、社会参加の機会が減ったため、筋力や意欲が低下し、楽しみのある生活を送るにはどうしたらよいかとの相談も寄せられています。コロナ禍で社会とのつながりが希薄になり、フレイル(体が弱っていく状態)が深刻な問題になって

います。社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入口とも言われていますので、高齢者にとって社会とのつながりはとても重要です。

地域には、高齢者が交流や体操などを行う居場所が少しずつ広がっています。例えば、地域の居場所・通いの場である「カフェなかじま」や「サロンかみじゅく」、フレイル予防のための運動の場「フレトレ」(けやきの郷圏域では8ヶ所)があります。フレトレとは、3人以上の仲間で転倒予防のためのトレーニングを行う集まりのことです。また、認知症のことを話せたり、認知症の人や家族が安心して過ごせる「オレンジカフェけやき」、「オレンジカフェなかじま」があります。そこでは、日常の話をしたり、軽い体操等を行ったり、認知症についての相談も行っています。

人と人がつながり、その人らしく過ごすことができる地域を目指して、地域包括支援センターでは日々、活動しています。誰かとつながりたい、体操やサロン等に参加してみたいと考えている方、まずはお気軽に地域包括支援センターへご連絡ください。

# 協力者カミングアウト

## ～マゼンタ・スターの取り組み～

### 白梅学園清修中学校中高一貫部 環境団体「ANSS(※1)」



白梅学園清修中学校には、ANSS(2019年に10期生により発足)という環境団体があります。

※1 ANSS…(Awareness of Natural Spirit at Seishu)清修での自然への(環境問題など)意識や気付きを高める活動。

私たちは、SDGs 達成のために今、私たちに出来ることは何かをみんなで話し合ったり、様々なボランティアに参加したりしながら活動しています。その活動の中からご紹介させていただきます。

「誰かの力になりたいけど、声をかけにくい」という経験はありませんか。

白梅学園清修中学校では、協力したい思いを知らせるためのマーク『マゼンタ・スター(※2)』を広げる活動を行っています。

※2 国連も注目の東京大学の学生発のエンパワープロジェクト。清修中学校は、東京大学の方の許可を得てこの活動を行っています。

このプロジェクトのシンボルである『マゼンタ・スター』を身につけることで、自分が協力したい気持ちがあることを、声に出すより簡単に伝えることができます。これを「協力者カミングアウト」と呼びます。3月7日、小平市中央公民館にて『マゼンタ・スター』について、プレゼンテーションとワークショップを行い、多くの市民の方々と交流することが出来ました。

#### 【マゼンタ・スターのアイテム】

マークの名前にもなっているマゼンタカラーは、SDGsが掲げる17ある目標の10番目『人や国の不平等をなくそう』を表す色。グレー部分は、SDGsの目標の数を表



す17角形。世界の三分の一以上の国が国旗に使用している星で構成されています。キーホルダーや缶バッジ、ステッカーを身につけることで、誰でも今すぐに協力者になることができます。

私たちと一緒に、この活動に参加してくれる方を募集しています。

# 分かった会で学んだこと

## 瀧野瞬(小平第四中学校卒)

僕が分かった会に入って学び始めたのは、中学3年生になってからです。それまでは家から1番近い個別塾で週に2回勉強していました。中一からの2年間教えてもらっていましたが、自分には合わないんじゃないか。と思い、両親に相談しお世話になった塾を辞めることになりました。これからどうしようと悩んでいたそんな時に、妹が分かった会で勉強を教えてもらっていたことから、僕も分かった会で学ばせてもらえることになりました。

分かった会にはいろいろな先生方がいます。先生によって得意な教科が違うのですが、どの先生も優しく丁寧に教えてくれます。常にみんなのところを回ってきて、手が止まっていると、「どこがわからないのか

な？」とすぐに声をかけてくれます。また、勉強以外にもいろいろな話をしてくれます。どの先生もいつも温かく見守ってくれていたことを今とても感じています。

修了式ではたくさんの先生たちに囲まれて、高校生活がんばって！とエールをいただき、とても心強かったです。たった1年間ではありましたが、僕には大切です。感謝の1年間でした。分かった会は卒業してしまいましたが、これからもわからないことや不安なことがあったら、分かった会の先生方に相談したいと思っています。短い間でしたが、たくさんのことを学ばせてくださり、本当にありがとうございました。

## 2023年度 第1回コミュニティカフェ

### 世代間交流 を開催しました

白梅学園大学 森山千賀子

新型コロナが5類感染症に移行し、世代間交流論の授業の一環としては初めてのコミュニティカフェ世代間交流が、2023年5月24日（水）11時～12時の時間帯で、白梅学園大学のI13講義室で行われました。

今回は、自己紹介、休憩（水分補給等）、スクラッチアート制作の3本の流れでした。スクラッチアートとは、色紙を削ることで絵を描くアートです。短時間ではありますが、和やかなひと時だったと思います。



◎地域の方から、開催前にお手紙を頂戴しました。その一部をご紹介します。

今日は、白梅学園大学子ども学部家族・地域支援学科の交流コミュニティカフェへお招きいただき、ありがとうございます。

地域のお一人暮らしの\*\*さんと楽しみにこれから伺います。これまでも、手形アート、うちわ作り、しおり、クリスマスリースなど、楽しいイベントがありました。今日はスクラッチアートです。私は、初めてです。

世代間交流というのは面白いもので、それが交流論・演習の授業となるというのは、やっぱり大学なんだなあと思いました。昔は、地域の人間は、関わりあって助けあって生きてきましたが、今は、核家族にはじまり、成長したら子供達が独立、二人暮らしから一人暮らし、地域での孤立となっています。

大学生の皆さんは、私にとっては孫のようです。その皆さん達と一緒に過ごす時間は、楽しいです。友人達は、嬉しくてぐっすり眠れたとか、夜トイレに行かなくなったとか、作品をながめて飾って楽しいといっています。

今日も、どんな出会いがあるでしょうか。どうぞ宜しくお願いいたします。

本当に素敵なお言葉をありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。次回は、6月21日（水）11時～です。ご参集頂ければ幸いです。お問合せは下記まで。

・電話：042-313-5053 メール：  
[moriyama@shiraume.ac.jp](mailto:moriyama@shiraume.ac.jp) 森山千賀子

## 5月の歌-「子どもの日」特集-

### 金田利子

- ◆子どもの日ほんとはまさに大人の日 子どものことを考える日に
- ◆ただ無心子らと遊びて我が中に 童心見つけて 己見直す
- ◆子のけんか「ぼうりょく」はダメ「ことば」でと  
なのに大人はなぜ「せんそう」する？
- ◆ この問いにすべての大人が真向かいて 戦争 NO の決意この日に

## 皆さん、コミュニティ・サロン(下の①～④)と「中学生勉強会」(④)に足を運んでみませんか?

お待ちしております!

### ① ほっとスペースさつき

毎週火曜と木曜 10:00～16:00 (移転先検討中) 問合せ: 渡辺 穂積 TEL: 042-344-7412

### ② ほっとスペースきよか

毎月第二月曜 13:30～15:00 参加費 200円 (移転先: 小平市小川町 1-755-2-106) 問合せ: 瀧口優 TEL: 080-3450-6878

\*2023年7月10日(月) 13:30～15:00 ほっとスペース第二きよかがスタートする予定です。

\*9月からは第一月曜に予定しています。

### ③ カフェなかじま

毎月第1水曜日(祝日の場合は第2水曜日) 13:30～15:30 中島地域センター 参加費 100円

### ④ 「分かった会」小中無料学習教室

毎週木曜日 18:00～20:00 (小川公民館) 問合せ: 奈良 勝行 (講師募集中!) TEL: 090-4435-4306

## イベントの予定

- ・07月22日(土) 13時～15時 白梅子育て広場&世代間交流
- ・08月05日(土) 小平あかりまつり
- ・09月03日(日) たいよう福祉センター祭り
- ・10月21日(土) 10時～ 白梅祭(白梅学園大学・短期大学)
- ・10月22日(日) 10時～ 白梅祭(白梅学園大学・短期大学)

## 西ネットの今後の予定

- 大学世話人会: 06月18日(火) 18時～
- 地域世話人会: 07月09日(火) 18時～
- 大学世話人会: 07月18日(火) 18時～
- 大学世話人会: 09月05日(火) 18時～
- 地域世話人会: 09月12日(火) 18時～
- 地域懇談会: 09月26日(火) 18時～

## 西ネットの世話

ブロック	地域世話人	大学世話人
1	西 克彦・丸山安三	瀧口 優・杉本豊和 福丸由佳
2	足立隆子・芳井正彦・ 今野志保子	午頭潤子・土川洋子 吉村季織
3	大内智恵子・久保田進・ 穂積健児・杉浦博道・ 吉田徹	金田利子・草野篤子 西方規恵・牧野昂哲
4	桜田 誠・萩谷洋子 細江卓朗・渡辺穂積	井原哲人・森山千賀子
全体		奈良勝行

**お願い**: この広報紙『小平西のきずな』の編集方針は、「顔の見えるネットワークづくり」を目指して参加団体(者)の活動などを紹介し、文字通り「市民のきずな」を築いていこうとするものです。ニュースの全部または一部を改編することはお断りします。もし使用したい場合は編集担当までお申し出下さい。

**投稿募集**: このニューズレターは皆さんと一緒に作るものです。活動の報告やイベントの企画などについての原稿をお寄せください(奈良勝行)。

メール: [everonward.nara@xd5.sonet.ne.jp](mailto:everonward.nara@xd5.sonet.ne.jp)

**編集後記**: 「小平西のきずな」も今回で46号を迎えます。コロナ禍がはじまって3年が経過し、日本社会も新しい動きをすすめています。地域でも少しずつ対面で集まる機会が増えています。多くの方が「会いたい」「話したい」と思っています。徐々に枠を広げて行けたらと思います(瀧口)。